

## 石川啄木と旭川

東京旭川会会長 原 公朗

石川啄木の歌碑像が旭川に誕生します。

この発端は、平成22年10月に行われた東京旭川会が主催した旭川市と観光大使との懇談会「旭川の観光を考える」で生まれました。これを受けて今年7月、市民による「旭川に石川啄木の碑を建てる会」が発足しました。

来年4月、啄木没後100年を目標に建立運動を活発に展開しています。東京旭川会は、応援団としてその活動に積極的に参加しています。明治41年、啄木が小樽から釧路に向かう途中厳冬の旭川を訪れこの地に因んだ短歌4首を詠んでいます。啄木の代表的な歌集「一握の砂」に収められています。

歌碑像は、旭川市出身、三次元の魔術師と呼ばれている造形作家中村 園さんの作品です。「水蒸気 列車の窓の花のごと凍てしを染むる あかつきの色」この詩を作品の基にして、帽子を被り、首巻き、トンビを羽織り、厳寒の早朝、旭川駅を発車する座席に座り車窓の氷の結晶に差し込むあかつきの色に感動する姿を造形しています。

更に隣は空席とし、どなたでもそこに座り啄木に触れ、親しく話しかけることができるのです。この魅力ある歌碑像は新築なったJR旭川駅構内に設置されます。市民の誇りとなり、また、訪れる人々に賑やかな話題を提供することでしょう。



## 常呂町話題あれこれ

東京常呂会会長 佐藤 和美

常呂町では、毎月、住民の皆さんに「ところ通信」が発行されていますが、その中から幾つかの話題を紹介いたします。

### 1.「海を守る植樹・未来に豊かな海を残すために」

常呂漁業協同組合、鶴グループ、北見YMCA、道立少年自然の家が共催して常呂自治区栄浦に植樹し、「森は海の恋人、川は仲人」をキャッチコピーとして活動を始めてから今年で7年目となる。今年も、300本のエゾリコリンゴを植樹したが、約180人が参加し、自然と親しむ楽しい1日を過ごした。

### 2.「街を花いっぱい」

「花のまちづくり実行委員会」を中心に、約1000人が参加して、北進町フラワーロードなど3カ所にセリーゴールドやサルビヤ3,000株を植えた。実行委員長今井氏は「各事業所と町内会が協力して、町を 花で彩りたい」と語った。

### 3.「ところ常南ビーチオープン」

7月23日、オホーツク圏で数少ない海水浴場の「ところ常南ビーチ」がオープンした。8月10日までの10時から15時まで、安心して南国気分を楽しめる。

### 4.「ワッカ原生花園のクリーンアップ」

学生20人が参加して、「ワッカ原生花園」内の除草など、クリーンアップ作業を行った。

## ふるさと会連合会・ゴルフ懇親会

第16回ゴルフコンペが、10月10日（祭日）、体育の日、埼玉日高CCで開催で開催。

最高の秋晴れとコンディションに恵まれ、参加した皆さん「北海道フェア」の疲れも忘れて、5組で20名のエントリーでしたが、腰痛等で2名が欠、18名で元気よくスタート。ルールは新ペリア方式で全ホールに気合が入り過ぎて、池ポチャ、OB等であっても和気あいあいなうちに進行了ました。ラウンドも終わり、ひと風呂を浴びて、パーティーの席で、優勝は昨年の覇者、東京札幌会の幹事長の米田文雄さんが、昨年に続いて優勝に輝いた。

### グロス92、ネット71.6とベスグ

口も取り、馬券も買って当り三冠王でした。最後に伊野会長より、来年は参加の皆さんが練習して腕をみがき、三連勝のないよう、1年間頑張ります。

来年は今回以上に多くの参加があるよう、皆さんで声をかけますように話があり、全員の集合写真を取り、今日のゴルフ大会を終了し、帰宅についた。

ふるさと会連合会・ゴルフ愛好会幹事



## 北海道日本ハムファイターズ

2011年も北海道日本ハムファイターズへの多大なるご声援ありがとうございます。来シーズンも道民の皆様と一緒に戦ってまいります。ご声援よろしくお願いたします。